

## 個別支援計画に組み込まれた栄養ケア・マネジメントの進め方の事例

社会福祉法人 恵和 恵和青年寮  
管理栄養士 若山すみえ

### はじめに

社会福祉法人恵和は横浜市保土ケ谷区を拠点に、知的障がい者の施設入所支援事業、生活介護事業、共同生活援助事業、共同生活介護事業等を行っており、平成 26 年に創立 60 周年を迎えることができました。

恵和青年寮は入所施設で定員 90 名の入所者がおり、利用者の高齢化が進んでいる現状があります。介護保険を利用して高齢施設に移行できる 65 歳前に身体機能が低下し、医療的ケアを必要とするケースが少なくありません。施設での生活を楽しく過ごすことができるように食支援を行うことが必要だと感じています。

栄養ケア・マネジメントは平成 22 年から実施していますが、当初は制度の認知度も低く、管理栄養士が中心に進めていく状況がありました。個別支援計画に組み込むことで支援員、看護師と共に食支援について意識も高めることができ、現在に至っています。

### 栄養ケア・マネジメントを個別支援計画に組み込むまで

平成 22 年栄養ケア・マネジメント開始時は制度の認知度は低く、加算が取得できるということを事務職が知っている程度でした。健康診断の結果は医務課、体重は支援員が計測していましたが、大きく体重の増減があつてから課題にする状況でした。体重の変化と食事量、健康診断の結果等を管理栄養士で把握し、状況に合わせて支援員や看護師に確認するということが精一杯でした。食事量、体重変化、健康診断の結果での評価はできますが、利用者の全体像が分からず、利用者の状況に合わせた提案ができずにいました。

経過記録は栄養士が記録していましたが、共有のファイルは設けていませんでした。

当初、個別支援計画と別に栄養ケア計画を作成していましたが、他職種と食支援をしていくのは難しく、食支援は栄養士の仕事でしょ？との認識が強くありました。食事は全量摂取、体重、健康診断問題なしであれば栄養状態としてはおおむね良好と判断はできます。栄養状態が良好でも、集中力に欠け、キョロキョロし、ムセありの利用者はなぜ集中できないのか？については支援員の日常の観察力が必要です。集中できない環境、食べにくさ、などは利用者本人が私たちに伝えることがなかなかできません。現場で食事介助をやらせてもらいながら本人の様子を確認し、支援員との意見交換をすることで改善策が出てくることが多くありました。利用者の生活の中に「食」があり、本人の全体像が見えない中で

は栄養ケアもできないと感じ、個別支援計画の中に取り込むことになりました。

## 個別支援計画に栄養ケア・マネジメントを組み込んだ現在の状況

個別支援計画のモニタリング会議をサービス管理責任者、支援員、看護師、管理栄養士の職種で実施。経過と評価をその場で行い次の個別支援計画につなげていく工程がスムーズに行うことができるようになりました。個別支援計画の中に栄養ケア・マネジメントを組み込むことで利用者の希望する生活を捉えることができるようになり、支援課題の優先順位が話し合えるようになりました。それにより本人の全体像を捉えながら「食」に関する提案ができる環境になりました。

今では、「栄養士がやる食支援」から「他職種で考える食支援」に変わってきています。個別支援の「食」にかかわる経過については法人ネットワークの個人記録に打ち込みます。自分の記録と共に利用者個人の記録としても保存され、モニタリング時に経過がわかりやすくなりました。また栄養士からの経過記録は支援員にとって安心感もある様子です。

入所利用者 90 人のモニタリング会議は随時あり、一人当たり 30 分程度かけて話し合いが行われています。モニタリング会議には多くの時間を要しますが利用者の全体像をよく知り、本人に合った食支援を行うためには必要だと感じています。

個別支援計画の開始日を相談支援事業(サービス等利用計画)、受給者証の更新と時期を合わせることでモニタリング会議の時期が集中する事なく実施しやすくなってきています。

現在では利用者の全体像がより理解できるようになり、利用者に合わせて提案ができるようになりました。他職種でのモニタリングはスムーズにできるようになりましたが、担当支援員以外への個別支援計画(栄養ケア含む)の内容が共有できていない状態にあります。

担当支援員以外へ個別支援計画(栄養ケア含む)の共有をどのように進めていくかは今後の課題にしたいと考えています。

## 様式事例

- ① 個別支援計画(恵和青年寮様式)
- ② 個別栄養管理表(栄養士用)
- ③ 個人記録

# ① 個別支援計画(恵和青年寮様式)

## 恵和青年寮 個別支援計画

施設長	副施設長	係長

利用者氏名	様	作成担当者	様
計画作成日	平成 27 年 1 月 31 日	ナース管理責任者	様
計画実施期間	平成 27 年 3 月 1 日 ~ 平成 27 年 8 月 31 日 まで		

利用者の希望する生活	体調を維持し、施設内だけではなく社会参加することを望んでいると思います。
家族の希望する生活	食事の安全に配慮し、穏やかに生活出来る事を希望します。
長期目標	怪我等無く、穏やかに生活します。
短期目標 (6 カ月)	毎月 2 回以上社会参加を体験します。

個別支援に組み込むことで  
利用者の希望する生活の  
全体像が見える

項目	目 標	内 容	時間・回数	支援者
くらす	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体機能の低下を緩やかにします。</li> <li>日々の体調管理と安定の維持を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下記、食事、日中活動、楽しむ、事故防止の内容に準じます。</li> <li>医務と連携し、全身の観察とバイタルチェックに努め、褥瘡や浮腫み、傷等にも適切に対応します。</li> <li>排泄状況の把握とコントロールを行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下記、食事、日中活動、楽しむ、事故防止の内容に準じます。</li> </ul>	生活支援員 看護師
食 事	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事のしやすい姿勢をとります。</li> <li>食具を使用し、食べられるように促します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢を直すよう声かけや介助をします。</li> <li>スプーンを手に持ち、食事を少しでも自分で食べられるように支援します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>随時</li> <li>毎食</li> </ul>	生活支援員 栄養士
日中活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養ケア・マネジメントの栄養計画の内容を記入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>立ち上がり練習、歩行練習、マッサージなどを行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日中活動時間、週 5 回以上。</li> </ul>	生活支援員
楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>提供します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドライブやえみ喫茶、地域の喫茶等に出掛けます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日中活動時間、月 2 回以上。</li> </ul>	生活支援員
事故防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全に生活出来るように支援を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事では誤嚥防止のため、適切な量を一口ずつ召し上がって頂けるよう支援を行います。</li> <li>入浴時の湯船では、身体を支える、ヘッドフロート(浮輪)を使用する等の対応を行います。</li> <li>上記以外でも環境の設定、生活全般の見守り等を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>随時</li> </ul>	生活支援員

栄養ケア・マネジメントの  
栄養計画の内容を記入

同意署名欄	確認日	平成	年	月	日	利用者署名	印	家族署名	印
-------	-----	----	---	---	---	-------	---	------	---

## ② 個別栄養管理表 (栄養士用)

平成26年度 個別栄養管理表

栄養課

氏名	[Redacted]			主障害と原因疾患	知的障害 ダウン症候群 脳性まひ てんかん	
生年月日	昭和 [Redacted] 日	併存症	糖尿病 脂質異常症 高血圧			
実施日	3月27日 (印)	7月2日 (印)	10月2日 (印)	11月2日 (印)		
身長	168 cm	168 cm	168 cm	168 cm		
体重	47.6 kg	49.2 kg	44.6 kg	44.6 kg		
肥満度(BMI)	16.9	17.4	15.8	16.5		
体重変化率	0.8 %減	3.4 %増	9.3 %減	4.0 %増		
食事摂取量	100 %	100 %	100 %	100 %		
食事量	1600 kcal	1600 kcal	1600 kcal	1600 kcal		
たんぱく質	g	g	g	g		
食形態	常食 粗 やわらか	常食 粗 やわらか	常食 粗 やわらか	常食 粗 やわらか		
個別対応	110禁 喫煙			→		
リスク	高 中 低	高 中 低	高 中 低	高 中 低		
検査値	TP	L 6.3				
	TC	149				
	HDL	73				
	LDL	L 64				
	TG	49				
	Hb	L 11.4				
食行動の特徴 及び 特記事項	拒食	5/15			10/22	
	偏食				燕内視鏡	
	丸呑み・早食い				検査	
	異食				実施	
盗食						
開口・閉口障害						
摂食障害						
嚥下障害						
嘔気・嘔吐						
下痢						
便秘						
浮腫						
脱水						
その他						
問題点	身体計測	無 有( )	無 有( )	無 有( )	無 有( )	無 有( )
	食生活・食行動	無 有( )	無 有( )	無 有( )	無 有( )	無 有( )
	その他	無 有( )	無 有( )	無 有( )	無 有( )	無 有( )
評価・判定	改善 改善傾向 維持 改善が認められない	改善 改善傾向 維持 改善が認められない				

体重表(支援)から転記。体重変化率を合わせて記入。

食事摂取量は食事時の巡回で確認する

健康診断(医務)の血液データを転記

リスク評価については「知的・身体障害者のための栄養ケア・マネジメントマニュアル」大和田浩子・中山健夫共著「栄養状態のリスク判断」を使用

食行動や検査などポイントになる項目を記入

### ③ 個人記録

法人ネットワークの記録様式を利用

個人記録

様

印刷日時 2015年0

法人のネットワークを利用。  
個人の記録に他職種から  
入力ができる

所属長	管理者	サービス管理
-----	-----	--------

日付時間	分類	記録者	記録内容
15/02/26 (木)	[生活]	支援員	午前、東戸塚記念病院から退院されました。
15/02/26 (木)	[夜間]	支援員	夕食後は落ち着いてホールで過ごされていました。22時頃に就寝介助しました。最初は仰臥位でしたが、徐々にベッド柵まで体がずれてくるので、バスタオルを巻いて姿勢保持に使用しました。23時頃に入眠を確認。夜間は熟睡されています。6時過ぎに職員が起こして、起床されました。排尿に関しては、ベッド上でオムツ確認をしました。22時頃にはパットに少量の排尿、6時頃にはパットが膨れる位の多めの排尿がありました。起床後も車椅子上で、落ち着いて過ごされています。
15/02/26 [12:00](木)	[食事]	若山 すみえ 管理栄養士	昼食介助。右麻痺があり、右側からの介助を左側からの介助に変更。座位が保持しにくい状況があり、車いすにテーブルをセット、両肘をのせ姿勢保持良好。口内に食物残渣があるため、食事とお茶ゼリーと交互に食べていただき、残渣クリアになっている。水分は弱いトロミあり。スプーンで摂取。ムセなし。食事全量摂取。
15/02/26 [15:30](木)	[生活]	支援員	退院後の入浴を2人で行ないました。パットになり、体を洗いバスタオルで体全体を拭きました。入浴後は、ベッドで着替え30分
15/02/28 (土)	[夜間]	支援員	19:30頃より声出しがみられました。21:00就寝介助後も1時間程声出しが見られています。22:00過ぎに就寝を確認しています。5:00オムツの様子をみるとたまっていたので交換を行なっています。その後も寝ており7:00起床介助を行ないました。
15/02/28 [10:00](土)	[余暇]	支援員	午前中は寮内でお茶会を行ないました。嬉しそうに笑いながら飲んでいました。
15/03/01 (日)	[余暇]	支援員	午前中は自販機で缶コーヒーを購入して、お茶会を行ないました。職員の介助を受けながら、適量ずつ飲んでいました。
15/03/01 (日)	[夜間]	支援員	21時に左側臥位にて就寝されました。23時、仰臥位に体位交換行ないました。1時、オムツ交換時、極小の排便がありました。その後、右側臥位に体位交換行ないました。3時、仰臥位に体位交換行ないました。4時、オムツ確認、左側臥位に体位交換しました。6時頃、オムツ交換を行ないました。その際、パット内に排尿がありましたが、オムツを外した時にも多量の排尿がありました。その後、ホールに移動してもらいました。
15/03/02 (月)	[生活]	支援員	日中は、声出しも、居眠りも無く、落ち着いていました。オムツ交換の際、小パットにおさまる量でした。食事、ほとんど咽る事無く、食べていました。

個別支援計画「食事」の  
経過を中心に入力する